



(一社)千葉県ニュービジネス協議会  
(CNBC:Chiba New Business Conference)

# CNBC 事業のご紹介

## 事務局

〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1

千葉商科大学内 商品学研究室

TEL/FAX : 047-373-9936

e-mail : [chiba-pref-nbc@cuc.ac.jp](mailto:chiba-pref-nbc@cuc.ac.jp)

URL : <http://chiba-nbc.net>

## (Chiba New Business Conference : CNBC )

会 長 鮎川二郎 (千葉商科大学経済産業省認定経営革新等支援機関担当)

### 1. 支援事業の目的

本協議会 (CNBC) は、千葉商科大学の戦略会議(主宰者島田春雄学長)の機関決定に基づき、(公社)日本ニュービジネス協議会連合会の傘下組織として、2008年(平成20年)9月に設立し、鮎川二郎(現千葉商科大学名誉教授)が会長に就き同大学内の商品学研究室に事務局を置いています。その後2010年(平成22年)に一般社団法人化しました。

CNBC は、産・学・官・民のネットワークを構築し、気概と情熱を持った起業家及びベンチャー企業、経営革新を推進する企業等が業種を超えて集結し、相互の啓発、連携及び交流を通じて会員である個人や法人、団体を支援して、相互のビジネスチャンスの拡大と経営資源の創造的改革及び創造的ニュービジネスの振興を図り、以って活力のある地域経済の発展及びび人材育成に寄与することを目的に活動しています。

そこで CNBC は、下図の支援体で経営上の諸問題や課題解決策、人材育成機会の提供、経営革新のための事業資金獲得策などに関する支援事業を展開することになりました。

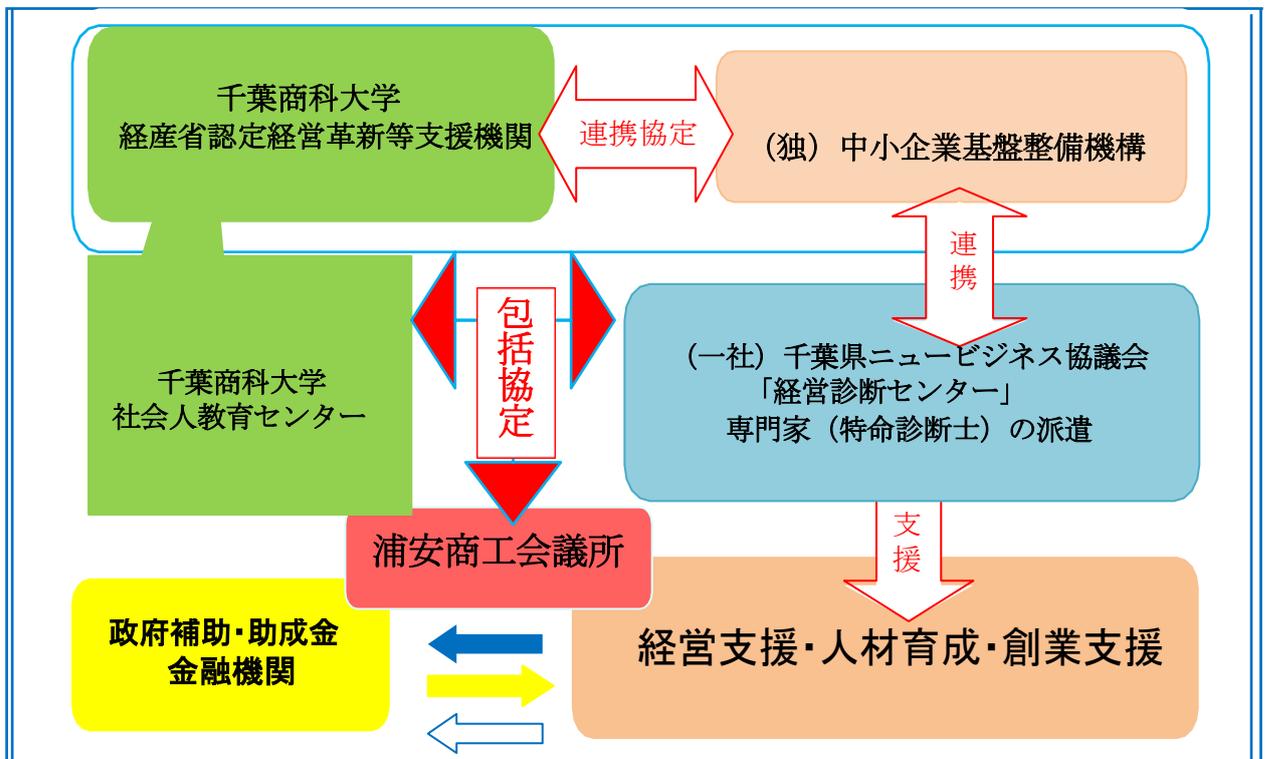
### 2. 連携・協働支援体制

CNBC が連携協定している千葉商科大学では、2013年から(独)中小企業基盤整備機構と業務提携を締結し、各種事業を強力に支援できる連携・協働体制が整いました。

CNBC では、新設の「経営診断センター」に、プロ集団として「特命診断士」を配置し、経営相談・経営診断、経営革新、経営セミナー、創業支援等に専門家派遣が出来る体制が整っています。また、経済産業省認定千葉商科大学経営革新等支援機関と連携協定し活力ある地域経済の発展及び人材の育成に寄与するため、地域企業との連携事業の展開を図ります。

CNBC はこれを契機に、(独)中小企業基盤整備機構と千葉商科大学社会人教育センターとの「三位一体」の支援体制を発揮し、相互が協働して千葉県内企業をはじめ、地域企業の事業資金獲得の具現化や経営上の諸問題や課題の解決策支援、経営革新支援、人材育成事業等を提供し、地域社会に貢献することを目的とするサポート事業を実施することとなりました。

2016年9月には、CNBC、千葉商科大学、浦安商工会議所と互恵による3者包括協定を締結し、教育、福祉、地域産業、まちづくり等の分野で相互協力し地域社会の発展と人材教育に貢献することとなりました。



# CNBC 経営診断センターの目的・構成員

## <目的>

CNB 会員をはじめ、広域企業、ベンチャー等の持続的経営革新や創業等を支援し、地域経済社会に寄与することを目的に、の CNBC 会員専門的学識経験者および千葉商科大学大学院中小企業診断士養成コース卒業生有志の中小企業診断士(SMEC:Small & Medium Enterprise Consultants)で構成する CNBC 経営診断センターを設置した(2016.7.9)。

## <事業内容>

1. 会員企業、その他広域企業、創業等に対する経営相談や経営診断指導に関する事業
2. 診断士相互の切磋琢磨を図るための研究会の開催とその成果発表
3. 診断士としての営業活動開発研修および支援
4. 診断士の人材教育研修力開発研修および支援
5. その他、センターの目的に関する事業

### ☆総括顧問

CNBC 会長 鮎川二郎 千葉商科大学名誉教授

### ☆センター顧問

CNBC 監事 太田三郎 千葉商科大学商経学部学部長

#### ☆顧問

CNBC 副会長 加賀 博 (株)ジーアップキャリアセンター代表取締役  
CNBC 副会長 天野克彦 千葉商科大学名誉教授  
CNBC 副会長 小野崎伸彦 (株)シーネット代表取締役  
CNBC 副会長 大田 勉 千葉工業大学教授  
CNBC 副会長 石川典男 (株)成田デンタル代表取締役  
CNBC 副会長 野口義信 (株)写楽館代表取締役

#### ☆顧問診断士

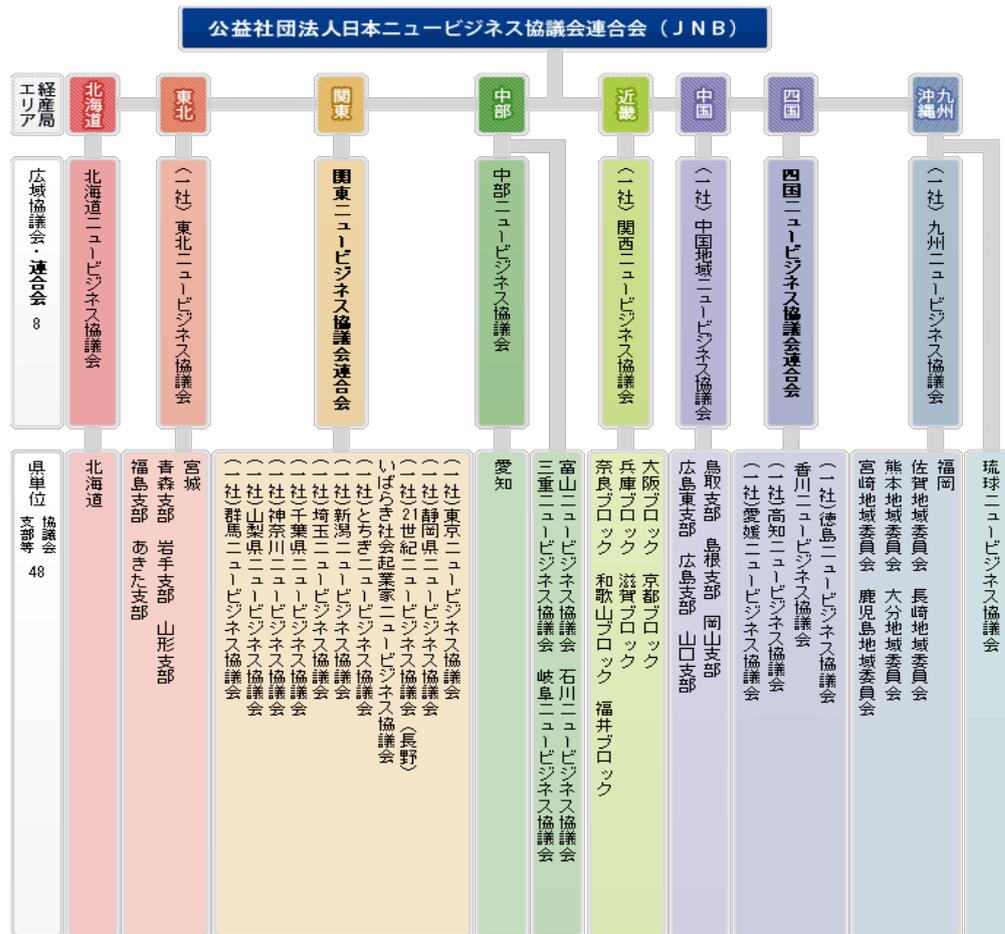
大塚慎二 千葉商科大学大学院中小企業診断士養成コース客員教授  
前田 進 千葉商科大学大学院中小企業診断士養成コース客員教授  
安藤 孝 千葉商科大学大学院中小企業診断士養成コース客員教授  
日野隼人 千葉商科大学大学院中小企業診断士養成コース客員教授  
小川雅人 千葉商科大学大学院中小企業診断士養成コース客員教授  
兼松万輝雄 千葉商科大学大学院中小企業診断士養成コース客員教授  
秋田舞美 千葉商科大学大学院中小企業診断士養成コース客員講師

### ☆特命診断士・千葉商科大学大学院中小企業診断士養成コース卒業生診断士 (卒業生診断士候補者55名(入会資格は上記の全顧問の中から3名以上の推薦 を必要とする)

|           |     |
|-----------|-----|
| 1期 卒業生診断士 | 7名  |
| 2期 卒業生診断士 | 2名  |
| 3期 卒業生診断士 | 3名  |
| 4期 卒業生診断士 | 10名 |
| 5期 卒業生診断士 | 9名  |
| 6期 卒業生診断士 | 2名  |
| 7期 研究生診断士 | 13名 |
| 8期 研究生診断士 | 13名 |

#### ☆CNBC 経営診断センター事業運営に関する内規

1. 顧問の役割について  
① 統括顧問、センター顧問、顧問、顧問診断士(以下顧問団)は、センター事業に参加し、事業を運営するための業務改善や企画立案等の相談に応じるものとする。また、専門知識、経験、人脈等を活用した企業の紹介、人材育成等に関するアドバイスをを行う。  
② 顧問団は、センター事業に参加し、各事業内容に関する相談を受け、アドバイスをを行う。  
③ 顧問診断士は、センターの事業に参加し、卒業生診断士のキャリアアップ促進を支援する。
2. 卒業生診断士および運営委員会の役割について  
① CNBC の会員としてセンター事業を主体的に企画・運営するものとする。  
② 卒業生診断士で運営委員会を組織し、運営委員長、運営副委員長、運営委員を構成する。  
③ 運営委員会には、必要に応じて顧問団の出席を要請することとする。  
④ 運営委員会における議決事項は、統括顧問、センター顧問の採決を得るものとする。
3. センター事業を実施するにあたり、必要に応じてセンター会議を開催する。



### JNBとはどのような団体ですか？

JNBは経済・社会構造の変化と技術革新に対応しつつ、全国各地域のニュービジネス協議会の意見を代表し、新規事業に挑戦している各種の事業関係者相互の啓発、連携及び国際交流を促進します。

また、官・学等との連携を深め、ベンチャービジネスを含むニュービジネスについて調査、研究、育成、及び政策提言等を行うことにより、国民経済の健全な発展に寄与することを目的とし、国際的にもわが国のベンチャービジネス・ニュービジネスを代表する全国団体として活動している社団法人です。

- (1)各協議会活動の輪を全国に拡げ全地域レベルで経済発展を図り、国の活性化に努める。
- (2)全国各地にニュービジネス関連団体の設立を促し、会員拡大に努める。

### ニッポン新事業創出対象の実施

#### 連携

1. 全国・広域・都道府県の各々において、拠点が整備されることによりニュービジネス・ベンチャービジネスを代表する団体として、足腰の強い組織体制が築け、会員間の交流の拡大強化が図れる。
2. 経済産業省本省や各地域の経済産業局・都道府県等の行政機関と適合した体制となることで、縦・横の窓口を通じたコミュニケーションが緊密化する。
3. 特に、地域に密着した現場レベルのパイプが強化されることにより、ビジネスパートナー発掘、技術提携、業務提携等を推進し、会員のビジネスミットの追求に貢献できる。
4. 地域拠点が都道府県・地域産業振興財団・中小企業基盤整備機構等と結びつくことにより、委託事業や補助金・助成金を得る機会に恵まれる

# CNBC生涯キャリア大学塾スキーム

～学びがい・働きがい・生きがいのある生涯キャリア実践を目指して～

一般社団法人千葉県ニュービジネス協議会（Chiba New Business Conference : CNBC）は、少子高齢化社会の進展から技術革新による人々の就業環境変化を迎える第4次産業革命時代に向けて、働き方改革を通して一億総活躍時代の実現を可能たらしめることを目的に学生、フリーター、地域社会人、企業人、転職者、退職者、一般社会人など多様な対象別に産学官協働による実践的な生涯キャリア総合支援を行う。

第4次産業革命時代とは

工場の稼働状況や物流、交通、個人の健康など様々な分野の情報をデータ化しインターネットを介してまとめ、人口知能（AI）で分析、利用につなげて新たな付加価値を生み出したり、生産の高度化を実現したりする技術革新の時代（蒸気機関による工場の機械化が実現した第一次産業革命、電力の活用による大量生産が始まった第二次産業革命、生産工程が自動化された第三次産業革命に次ぐ変革期に位置付けられている）。

主催：一般社団法人千葉県ニュービジネス協議会

共催：千葉商科大学/同大学院社会人教育センター  
生涯キャリアサポートコンソーシアム  
千葉県浦安商工会議所

協力：千葉県習志野商工会議所

後援：独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部  
一般社団法人就業総合支援協会

